

ふうしゃだより

弊社の事業内容や再生可能エネルギーについての情報を詳しく！正しく！そして分かりやすく！発信していきます

風力発電事業の“イマ”をお届け

事業内容 アップデート



工事着工に向けた準備状況について

前号でもお知らせしました通り、現在も引き続き、工事着工へ向け、各種許認可手続きや準備作業を進めております。

今回は、工事着工前に実施を予定している主な取り組みについてお知らせいたします。

地域の皆様への情報共有

工事着工前には、工事計画説明会等を通じて、工事内容や安全対策、工事車両の運行計画などについてご説明を行う予定です。今後も「ふうしゃだより」等を通じ、事業の進捗状況を分かりやすくお伝えしてまいります。

安全管理体制の整備

工事開始前より、安全衛生管理計画を策定し、事故防止に向けた準備を進めております。

作業開始前には危険予知活動(KY活動)を実施し、作業手順や危険箇所の確認を徹底いたします。

また、定期的な安全点検や現場確認を行い、安全第一で工事を進めてまいります。

建設資材・伐採木等の適正管理

工事に伴い発生する伐採木や土砂などについては、関係法令に基づき適切に管理・処理を行います。

また、可能な範囲でリサイクルや再利用についても検討し、廃棄物の削減や環境負荷の低減に努めてまいります。

行政機関による確認・検査

工事着工前には、関係法令に基づき、国・鹿児島県・市などの関係機関による審査や現地確認が行われます。森林法や盛土規制法等に基づき、設計内容や施工計画、安全性、排水計画などについて確認が進められております。

また、必要に応じて関係機関との協議や現地調査等を実施し、関係法令を遵守しながら、適切な工事着工に向けた準備を進めてまいります。

用地確保および地域との調整

風力発電事業の工事着工に必要なとなる用地について、現在は国有林を中心に関係機関との協議を進めております。

国有林については、九州森林管理局や森林管理署などの関係機関と協議を行い、必要な許認可の取得や各種手続きを進めております。

あわせて、地域の皆様との対話や説明の機会を継続的に設け、安全対策や生活環境への配慮などについて意見交換を行っております。

今後も、地域の皆様にご理解をいただきながら、丁寧に事業を進めてまいります。

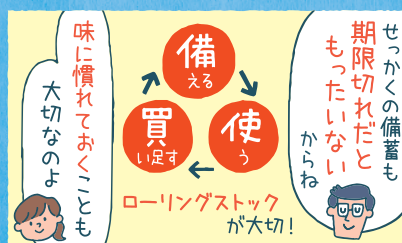


裏面では事業の『今』についてさらに詳しくご説明します！

こんなところにもSDGs♪



今号のテーマ ▶▶▶ ローリングストック



どのくらい知ってる？ 再エネQUIZ

問題 風の力で電気をつくる、新しい小型風車。名前になっている花はどれ？

- 1 バラ
- 2 チューリップ
- 3 サクラ

答え合わせは裏面で！

もっと詳しく！

深掘り！事業内容のアップデート

許認可状況 2026年5月時点

現在、本事業では、工事着手に向けて、森林法、盛土規制法等の関係法令に基づき、国(林野庁)、鹿児島県、市等の関係機関による審査・確認・検査が行われることとなっております。今後も、関係法令および関係機関の指導に従い、適切に対応してまいります。

森林法関係

保安林解除申請 (国有林、民有林) 弊社が提出した申請書に対し、林野庁および鹿児島県による審査が行われております。

林地開発許可 鹿児島県との事前協議を進めており、事前協議が完了次第、林地開発許可申請書を提出する予定です。

保安林内作業許可 関係機関との事前協議を進めており、事前協議が完了次第、申請書を提出する予定です。

盛土規制法

(宅地造成及び特定盛土等規制法)

土地の用途や所有者(民有林、国有林等)に関わらず、一定規模以上の盛土・切土等を行う場合には、法令に基づく許可等の手続が必要となります。本事業についても、現在、鹿児島県および鹿児島市との事前相談・協議を進めております。

土量計画 2026年5月時点

現在、本事業では、造成計画に係る切土・盛土、土量計算、残土処理計画、土砂処分場計画等について、関係法令に基づき、関係機関に対して必要な図書を提出し、審査・確認を受けながら対応を進めております。

令和8年5月13日時点の現計画では、評価書時と比較して、以下のとおりの計画となっています。

改変面積

約21.0ha
→約21.6ha

切土

約31万㎡
→約25万㎡

盛土

約17万㎡
→約16万㎡

残土

約15万㎡
→約8万㎡

土捨場数

3箇所→1箇所

残土処理や土砂搬出についても抑制を図る計画です。

なお、これらはあくまで現時点での計画となります。今後、森林法等、関係法令における手続において計画が変更となる可能性もありますのでご留意ください。今後も、関係法令および関係機関の指導に従い、適切に対応してまいります。

よりよい計画になるよう
工事が始まるまでに
何度も確認するんだね！



薩摩事業所/鹿児島中央事業所スタッフMEMO

ヴィーナ・エナジー、薩摩川内市初のネーミングライツ契約を締結
川内駅コンベンションセンター(多目的ホール)の愛称が
「ヴィーナ・エナジーホール」に

令和8年5月18日には、薩摩川内市役所本庁舎にて契約締結式が執り行われ、薩摩川内市田中市長と、弊社代表 ラウル・リエング・セビージャが契約書に調印しました。

本契約により、川内駅コンベンションセンター【SSプラザせんだい】多目的ホールの愛称は、7月1日より『ヴィーナ・エナジーホール』となります。本ホールが文化および交流の拠点として、今後ますます市民の皆様に親しまれ、活用されることへの願いを込めて命名されました。



再エネQUIZの 答え合わせ

答え ② チューリップ



チューリップの花のような形をした小型風力タービンで、ヨーロッパを中心に導入が進んでいます。コンパクトで、建物の屋上や船舶にも設置しやすい次世代型風力発電として注目されています。

お問合せ先

日本風力エネルギー株式会社 薩摩事業所/鹿児島中央事業所(かごしま郡山風力合同会社)
TEL. 0996-26-1411(平日9:00~17:00) FAX. 099-201-4180
薩摩事業所 〒896-0046 いちき串木野市西薩町17-41 / 鹿児島中央事業所 〒890-0045 鹿児島市武1丁目2-10 JR鹿児島中央ビル5F
専用サイト <https://project.venaenergy.co.jp/kagoshima-koriyama/>

